

産地戦略

実施期間 令和8～12年度

実施主体 下郷町農業再生協議会
都道府県 福島県
対象地域 福島県下郷町（桧原地区）
対象品目 水稻



環境負荷低減の取組の分類

化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの排出削減（水田からのメタン排出削減）	温室効果ガスの排出削減（プラスチック被覆肥料対策）
化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの排出削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの排出削減（省資源化）
● 有機農業の取組面積の拡大	温室効果ガスの排出削減（石油由来資材からの転換）	● 温室効果ガスの排出削減（その他）

目指す姿

水稻の有機農業において、自動操舵田植機と乗用型除草機を併用したグリーンな栽培体系を普及することで、除草作業効率の向上や化石燃料使用量の削減が進み、水稻の有機農業の取組面積が拡大する。

現在の栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	備考
主な作業名	播種	耕耘 代かき 移植	機械除草 (3回)			収穫	
技術名			○	△			○ 従来田植機（手動操作） △ 歩行型除草機

グリーンな栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	備考
主な作業名	播種	耕耘 代かき 移植	機械除草 (3回)			収穫	
技術名			○	△			○ 自動操舵田植機 △ 乗用型除草機

グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

項目	現状R7	目標R12	備考
グリーンな栽培体系の取組面積（ha）			
環境にやさしい栽培技術の取組面積（ha）	1.2	2.0	自動操舵田植機を活用する水田面積
省力化に資する技術の取組面積（ha）			自動操舵田植機及び乗用型除草機を活用する水田面積

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の内容・効果

〈技術の内容・効果〉

区分	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境	従来田植機（手動操作）による移植	▶ 自動操舵田植機による移植	移植作業の効率化
環境 省力	従来田植機（手動操作）による移植 歩行型除草機による雑草防除	▶ 自動操舵田植機及び乗用型除草機による雑草防除	移植精度の向上による欠株率の低減 除草作業時間の削減 除草効率の向上

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

区分	指標	現状	目指すべき水準	備考
環境	移植作業時間（分/10a）	22	▶ 21	現在の栽培体系と比して5%以上の削減
環境 省力	機械除草作業時間（分/10a）	44	▶ 22	現在の栽培体系と比して50%以上の削減

グリーンな栽培体系の導入・普及に向けた取組方針

栽培マニュアルを活用し、グリーンな栽培体系の導入による水稲の有機農業の取組面積の拡大を推進する。

関係者の役割

関係者名	下郷町			福島県南会津農林事務所
役割	技術普及の啓発	進捗確認	実績取りまとめ	技術指導

導入等をした機械等の活用面積の目標

農業機械名	作業内容	活用面積（R12）（ha）	備考
自動操舵田植機	移植	2.0	